

廃棄物処理施設の維持管理に関する記録(平成29年度)

1 焼却施設

(1) 処理した廃棄物量及び熱回収実績

	処理量	発電量
4月	3,611 t	2,099 MWh
5月	2,020 t	808 MWh
6月	3,434 t	2,059 MWh
7月	2,068 t	949 MWh
8月	2,843 t	1,643 MWh
9月	3,972 t	2,388 MWh
10月	2,381 t	1,122 MWh
11月	1,011 t	490 MWh
12月	3,567 t	2,155 MWh
1月	3,686 t	2,243 MWh
2月		
3月		
合計		

(2) 燃焼室中の燃焼ガス温度、集じん器に流入する燃焼ガスの温度、煙突排ガス中のCO濃度(すべて日平均値の月平均値)

1号炉

測定日	燃焼温度	集塵器流入 ガス温度	排ガス中の CO濃度	備考
4月	869℃	165℃	7ppm	
5月	—	—	—	休炉
6月	868℃	165℃	7ppm	
7月	863℃	165℃	9ppm	
8月	856℃	165℃	8ppm	
9月	862℃	165℃	9ppm	
10月	844℃	165℃	7ppm	
11月	873℃	165℃	8ppm	
12月	884℃	165℃	8ppm	
1月	885℃	165℃	8ppm	
2月				
3月				

2号炉

測定日	燃焼温度	集塵器流入 ガス温度	排ガス中の CO濃度	備考
4月	878℃	166℃	8ppm	
5月	874℃	166℃	10ppm	
6月	868℃	166℃	8ppm	
7月	—	—	—	休炉
8月	868℃	165℃	11ppm	
9月	864℃	165℃	9ppm	
10月	836℃	165℃	9ppm	
11月	—	—	—	休炉
12月	854℃	165℃	16ppm	
1月	827℃	165℃	15ppm	
2月				
3月				

(3) 冷却設備、排ガス処理設備にたい積したばいじんの除去

	ばいじんを除去した日
4月	1-30
5月	1-31
6月	1-30
7月	1-31
8月	1-31
9月	1-30
10月	1-30
11月	16-30
12月	1-31
1月	1-31
2月	
3月	

(4) 排ガス中のダイオキシン類濃度、ばい煙量又はばい煙濃度測定

1号炉

採取年月日	採取位置	結果が得られた日	測定結果				
			ばいじん濃度	硫黄酸化物濃度	窒素酸化物濃度	塩化水素濃度	ダイオキシン類
H29. 8. 23	煙突中間部	H29. 9. 26	<0.001g/Nm <sup>3</sup>	8ppm	66ppm	60ppm	0.042ng-TEQ/Nm <sup>3</sup>

2号炉

採取年月日	採取位置	結果が得られた日	測定結果				
			ばいじん濃度	硫黄酸化物濃度	窒素酸化物濃度	塩化水素濃度	ダイオキシン類
H29.10.25	煙突中間部	H29.11.27	<0.001g/Nm <sup>3</sup>	2ppm	48ppm	30ppm	0.020ng-TEQ/Nm <sup>3</sup>

2 廃石綿等又は石綿含有産業廃棄物の熔融施設

(1) 処分した廃棄物の各月毎の種類、数量

別紙1のとおり

(2) 熔融炉内の温度

1号炉

	測定位置	結果が得られた日	測定結果
4月	熔融炉底部	連続測定	1639℃
5月	—	—	—
6月	熔融炉底部	連続測定	1603℃
7月	熔融炉底部	連続測定	1650℃
8月	熔融炉底部	連続測定	1619℃
9月	熔融炉底部	連続測定	1663℃
10月	熔融炉底部	連続測定	1624℃
11月	熔融炉底部	連続測定	1510℃
12月	熔融炉底部	連続測定	1597℃
1月	熔融炉底部	連続測定	1589℃
2月			
3月			

2号炉

	測定位置	結果が得られた日	測定結果
4月	熔融炉底部	連続測定	1742℃
5月	熔融炉底部	連続測定	1774℃
6月	熔融炉底部	連続測定	1744℃
7月	—	—	—
8月	熔融炉底部	連続測定	1617℃
9月	熔融炉底部	連続測定	1791℃
10月	熔融炉底部	連続測定	1763℃
11月	—	—	—
12月	熔融炉底部	連続測定	1677℃
1月	熔融炉底部	連続測定	1684℃
2月			
3月			

(3) 排ガス及び処理生成物中の石綿濃度

1号炉

採取年月日	測定位置	結果が得られた日	測定結果	
			排ガス	スラグ

2号炉

採取年月日	測定位置	結果が得られた日	測定結果	
			排ガス	スラグ

(4) 排ガス処理設備及び集塵器にたい積したばいじんの除去

1の(3)と同じ

